

～誰ひとり取り残さない! 2020建設アクション～



コロナに負けるな!!

建設工事従事者ホットライン

Q, 1人で悩んでいませんか?

現場が閉鎖? 仕事が...

夫の現場、3密で心配...

資金繰りが...

お給料は? 生活費は?



<電話受付日時>

4月29日(水・祝)・30日(木)

午前10時～午後3時



03-5338-2335

A, 弁護士・中小企業診断士・社会保険労務士・建設労組書記が悩みを聞きます。適切なアドバイスを求めませんか

今こそ...
コロナに負けな
い建設業を!



主催: 2020建設アクション実行委員会=国土交通労組・東京土建・埼玉土建・千葉土建・神奈川県連・神奈川土建・建交労本部

誰ひとり取り残さない！ 2020 建設アクション 共同声明記者会見 ご案内と取材のお願い

主催：2020 建設アクション実行委員会

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、関東の建設労働組合（職人、技術者、中小業者などの現場従事者、建設関係の公務労働者などの組合）があつまり、新型コロナウイルス感染拡大と建設工事現場閉所の動きが広がる中で、建設労働者の命と暮らし、雇用を守り、小零細事業者の経営を支えるためのとりくみをすすめることとしました。

この間、ゼネコン、住宅メーカー各社の社員が、新型コロナウイルスに感染したことが公表されています。私たちは、建設現場での感染の危険性について繰り返し指摘してきましたが、それが現実のものとなってしまいました。こうした状況をうけて、首都圏を中心に建設工事現場閉所の動きが広まっています。

しかし、下請で就労する作業員の多くは日給月払い（日給月給制）であり、工事現場閉所は生活の糧を失うことに直結します。役務提供を主とする下請事業者も同様です。新型コロナ感染の不安があっても、生きていくためには我慢しなければならず、声を上げることができない厳しい現実があります。自分たちの自助努力では到底賄えきれません。

この状況を打開するため、私どもは、政府及び地方自治体、建設業団体、発注者団体などへの要請行動、建設事業従事者に向けた建設ホットライン（電話による相談対応）、世論への宣伝など行っていく所存です。

つきましては、下記の通り、記者会見を取材いただき、私たちの共同声明と要求、現場の仲間による実態の告発など、報道に向けてご協力ご尽力賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

【記者会見】 ◆取材をお願い致します◆

【日時】 2020年4月28日（火）

午前11時～

【会場】 けんせつプラザ東京 5階

（東京土建本部会館）

新宿区北新宿 1-8-16

JR 大久保駅 徒歩3分。

JR 新大久保駅 徒歩8分

【電話相談】 ◆取材をお願い致します◆

【日時】 4月29日（水・祝）

4月30日（木）

午前10時～午後3時

【場所】 けんせつプラザ東京 5階



構成団体：国土交通労働組合、東京土建一般労働組合、埼玉土建一般労働組合、千葉土建一般労働組合、神奈川県建設労働組合連合会、神奈川県一般労働組合、全日本建設交運一般労働組合

問い合わせ先・事務局：東京土建一般労働組合【産業対策委員会：北川、中村修一、村松】

新宿区北新宿1-8-16 電話：03-5332-3971

以上